

【生活科学研究科】

出願期間	2022年1月4日～2022年1月7日
試験日	2月予定
合格者発表日	未定

博士前期課程							
専攻・コース	募集区分	試験科目				外部試験の利用について	日本語能力にかかる要件等について
		筆記試験			口述試験・面接		
生活科学専攻 食栄養学コース	一般	科目名	基礎科目	外国語（英語）	専門科目	口述試験	
		出題範囲 選択科目 キーワード	次の3科目から1科目選択 化学 生化学 解剖生理学	英語	志望する専門科目を1科目選択 食品機能化学 微生物学 環境健康科学 栄養医科学 公衆栄養学 生化学 生体機能学 食品衛生科学 栄養機能科学 臨床栄養学 給食栄養管理学 応用栄養学 食行動教育学 基礎栄養学 感染制御学 病態栄養学 栄養化学 分子栄養学 スポーツ医学 食品科学 栄養診療学 栄養マネジメント学 社会健康科学 地域栄養学	志望する専門について行います。	
		試験時間	90分	90分	90分	1人当たり約10分	
		配点	100点	100点	100点	－	
	留学生	科目名	基礎科目	外国語（英語）	専門科目	口述試験	日本語の公的試験の成績表または日本語学校や大学が作成した証明書の提出を必須とする。 日本語学校や大学で日本語の授業を受けた者は、修学に差し支えない程度に日本語を修得している旨、実際に指導を受けた教員により記載・公的な押印がされたものを提出。
		出題範囲 選択科目 キーワード	次の3科目から1科目選択 化学 生化学 解剖生理学	英語	志望する専門科目を1科目選択 食品機能化学 微生物学 環境健康科学 栄養医科学 公衆栄養学 生化学 生体機能学 食品衛生科学 栄養機能科学 臨床栄養学 給食栄養管理学 応用栄養学 食行動教育学 基礎栄養学 感染制御学 病態栄養学 栄養化学 分子栄養学 スポーツ医学 食品科学 栄養診療学 栄養マネジメント学 社会健康科学 地域栄養学	志望する専門について行います。	
		備考	－	本研究科が用意する「英和辞典」のみ使用可			
		試験時間	90分	90分	90分	1人当たり約10分	
		配点	100点	100点	100点	－	
	社会人A	科目名	－	外国語（英語）	専門科目	口述試験	
		出題範囲 選択科目 キーワード		英語	志望する専門科目を1科目選択 食品機能化学 微生物学 環境健康科学 栄養医科学 公衆栄養学 生化学 生体機能学 食品衛生科学 栄養機能科学 臨床栄養学 給食栄養管理学 応用栄養学 食行動教育学 基礎栄養学 感染制御学 病態栄養学 栄養化学 分子栄養学 スポーツ医学 食品科学 栄養診療学 栄養マネジメント学 社会健康科学 地域栄養学	志望する専門について行います。	
		備考					
		試験時間			90分	1人当たり約10分	
		配点			100点	－	
生活科学専攻 居住環境学コース	一般	科目名	基礎科目	外国語（英語）	専門科目	口述試験	2020年1月1日以降に受験したTOEIC L&Rの成績を評価。（点数換算）※団体特別受験制度（IPテスト）のスコアは無効
		出題範囲 選択科目 キーワード	次の1科目必須 建築基礎 （建築作品・建築史、住居計画、建築計画、都市計画、環境工学、構造に関する問題30問中20問選択）	英語	志望する専門科目を1科目選択 住生活学 居住文化史 居住空間意匠学 住居人類学 居住環境工学 建築設備 建築計画学 人間工学 居住空間構造学 都市計画学 居住システム学	志望する専門について行います。	
		備考	－	TOEICによる代替可			
		試験時間	90分	90分	90分	1人当たり約10分	
		配点	100点	100点	100点	－	
	留学生	科目名	基礎科目	外国語（英語）	専門科目	口述試験	日本語の公的試験の成績表または日本語学校や大学が作成した証明書の提出を必須とする。 日本語学校や大学で日本語の授業を受けた者は、修学に差し支えない程度に日本語を修得している旨、実際に指導を受けた教員により記載・公的な押印がされたものを提出。
		出題範囲 選択科目 キーワード	次の1科目必須 建築基礎 （建築作品・建築史、住居計画、建築計画、都市計画、環境工学、構造に関する問題30問中10問選択）	英語	志望する専門科目を1科目選択 住生活学 居住文化史 居住空間意匠学 住居人類学 居住環境工学 建築設備 建築計画学 人間工学 居住空間構造学 都市計画学 居住システム学	志望する専門について行います。	
		備考	－	本研究科が用意する「英和辞典」のみ使用可 TOEICによる代替可			
		試験時間	90分	90分	90分	1人当たり約10分	
		配点	100点	100点	100点	－	
	社会人A	科目名	－	外国語（英語）	専門科目	口述試験	2020年1月1日以降に受験したTOEIC L&Rの成績を評価。（点数換算）※団体特別受験制度（IPテスト）のスコアは無効
		出題範囲 選択科目 キーワード		英語	志望する専門科目を1科目選択 住生活学 居住文化史 居住空間意匠学 住居人類学 居住環境工学 建築設備 建築計画学 人間工学 居住空間構造学 都市計画学 居住システム学	志望する専門について行います。	
		備考					
		試験時間			90分	1人当たり約10分	
		配点			100点	－	

博士前期課程							
専攻・コース	募集区分	試験科目				外部試験の利用について	日本語能力にかかる要件等について
		筆記試験			口述試験・面接		
生活科学専攻 総合福祉科学コース	一般	科目名	基礎科目	外国語（英語）	専門科目	口述試験	
		出題範囲 選択科目 キーワード	次の1科目必須 福祉基礎 （社会学・心理学・教育学・ 経済学・社会福祉学に関する問題）	英語	志望する専門科目を1科目選択 社会福祉学 福祉政策学 社会開発学 福祉システム学 教育臨床学 地域福祉学 家族社会学 社会政策学 先端ケア学	志望する専門について行 います。	
		試験時間	90分	90分	90分	1人当たり約10分	
		配点	100点	100点	100点	—	
	留学生	科目名	基礎科目	外国語（英語）	専門科目	口述試験	日本語の公的試験の成績 表または日本語学校や大 学が作成した証明書の提 出を必須とする。
		出題範囲 選択科目 キーワード	次の1科目必須 福祉基礎 （社会学・心理学・教育学・ 経済学・社会福祉学に関する問題）	英語	志望する専門科目を1科目選択 社会福祉学 福祉政策学 社会開発学 福祉システム学 教育臨床学 地域福祉学 家族社会学 社会政策学 先端ケア学	志望する専門について行 います。	日本語学校や大学で日本 語の授業を受けた者は、 修学に差し支えない程度 に日本語を修得している 旨、実際に指導を受けた 教員により記載・公的な 押印がされたものを提 出。
		備考	—	本研究科が用意する「英和辞典」のみ使 用可			
		試験時間	90分	90分	90分	1人当たり約10分	
		配点	100点	100点	100点	—	
	社会人A	科目名	—	外国語（英語）	専門科目	口述試験	
		出題範囲 選択科目 キーワード		英語	志望する専門科目を1科目選択 社会福祉学 福祉政策学 社会開発学 福祉システム学 教育臨床学 地域福祉学 家族社会学 社会政策学 先端ケア学	志望する専門について行 います。	
		備考		本研究科が用意する「英和辞典」のみ使 用可			
		試験時間		90分	90分	1人当たり約10分	
		配点		100点	100点	—	
生活科学専攻 臨床心理学コース	一般	科目名	基礎科目	外国語（英語）	専門科目	口述試験	
		出題範囲 選択科目 キーワード	次の1科目必須 心理学（実験心理学・応用心理学・ 発達心理学・臨床心理学に関連する 専門知識を問う）	英語	志望する専門科目を1科目選択 発達臨床心理学 周産期家族臨床学	志望する専門について行 います。	
		試験時間	90分	90分	90分	1人当たり約10分	
		配点	100点	100点	100点	—	
	留学生	科目名	基礎科目	外国語（英語）	専門科目	口述試験	日本語の公的試験の成績 表または日本語学校や大 学が作成した証明書の提 出を必須とする。
		出題範囲 選択科目 キーワード	次の1科目必須 心理学（実験心理学・応用心理学・ 発達心理学・臨床心理学に関連する 専門知識を問う）	英語	志望する専門科目を1科目選択 発達臨床心理学 周産期家族臨床学	志望する専門について行 います。	日本語学校や大学で日本 語の授業を受けた者は、 修学に差し支えない程度 に日本語を修得している 旨、実際に指導を受けた 教員により記載・公的な 押印がされたものを提 出。
		備考	—	本研究科が用意する「英和辞典」のみ使 用可			
		試験時間	90分	90分	90分	1人当たり約10分	
		配点	100点	100点	100点	—	
	社会人A	科目名	—	外国語（英語）	専門科目	口述試験	
		出題範囲 選択科目 キーワード		英語	志望する専門科目を1科目選択 発達臨床心理学 周産期家族臨床学	志望する専門について行 います。	
		備考		本研究科が用意する「英和辞典」のみ使 用可			
		試験時間		90分	90分	1人当たり約10分	
		配点		100点	100点	—	